

適応基準

- 治療時の年齢が16歳以上。下肢の場合は30歳以上。
- 認知機能がほぼ正常で、うつ病がない。
- 透析治療を行っていない。
- クリップ、コイル、ステントといった頭蓋内金属が入っていない。
- ペースメーカーが入っていない。
- 過去1年間、けいれん発作を起こしていない。
- 脳波で異常がない。
- 日常生活が、ほぼ自立している。
- 1日4時間のリハビリテーションを行える健康状態である。
- 上肢の場合、手を握ったり開いたり、指の曲げ伸ばしができること。
- 下肢の場合、補助具や装具の使用有無に関わらず、介助なしで10m程度歩行できる。

問い合わせ先

***ご希望の方は、まずは電話でお問い合わせください。**

電話：地域医療連携室 052-835-3473

電話受付時間：月曜日から金曜日（祝日・年末年始を除く）
8時45～17時00分

ホームページ・X

● 事業団ホームページ

(<https://www.nagoya-rehab.or.jp>)

● 事業団公式X

(最新の情報を公開しています)



是非ご覧ください！



あなたの「らしさ」をかたちに

社会福祉法人

名古屋市総合リハビリテーション事業団

rTMS治療のご案内 (下肢のリハビリテーション)

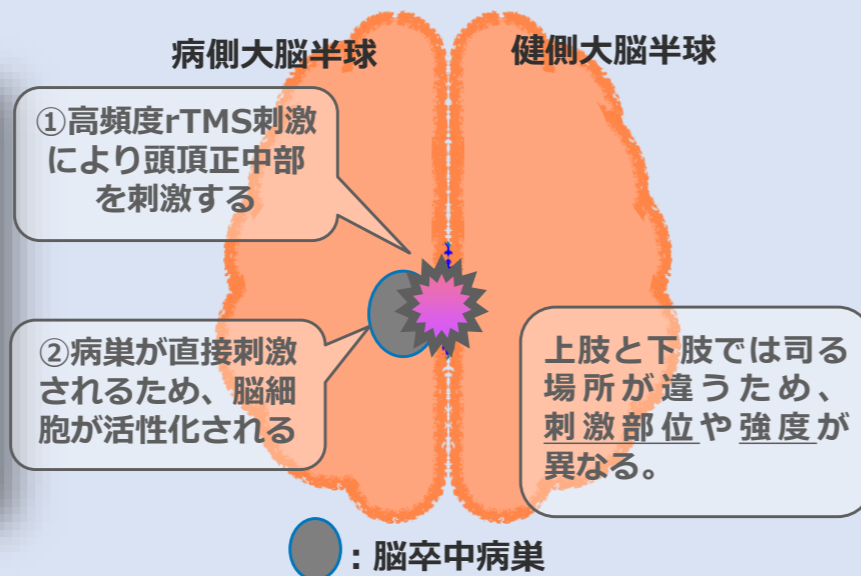


反復性経頭蓋磁気刺激（rTMS）とは
特殊なコイルを用いて脳の外側から脳を局所的に刺激する治療法です。
集中的なリハビリテーションを実施する前に脳を刺激することで、脳の
持つ回復力を最大限に引き出す治療法です。

rTMS(下肢) の治療とは？

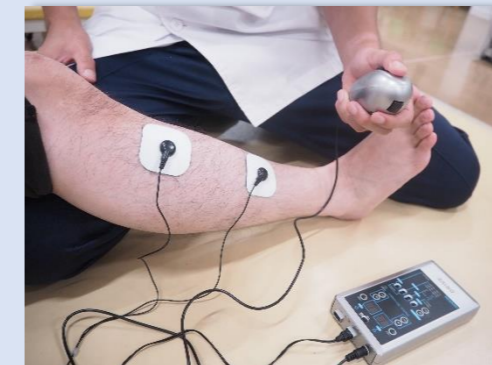
脳卒中後、健康な脳から障害の起きた脳に対して働きを抑えるような力が強まり、アンバランスな状態となります。

rTMS（下肢）の治療では1秒間に10回という高頻度の刺激を病側の脳に与えます(①)。高頻度刺激は、脳局所の活動性を変化させることができる(②)と報告されており(②)、眠っている脳細胞を活性化することが期待できます。

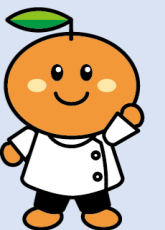
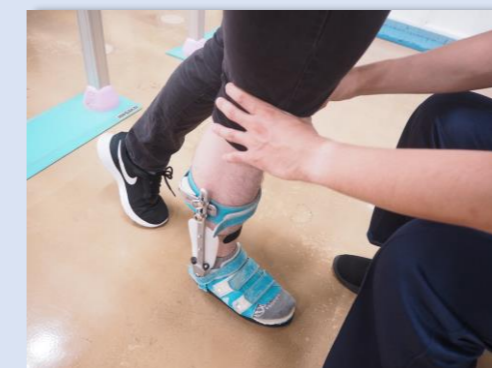


リハビリテーションの内容は？

rTMS(下肢)実施後、個別での理学療法、能力に合わせた自主トレーニングを行っていただき、麻痺した足を積極的に使用し歩行の再建を援助します。



電気刺激療法 (DRIVE)



rTMS(下肢) 入院リハビリスケジュール

	月	火～金	土・日	月～木	金	
	1日目	2～5日目	6・7日目	8～11日目	12日目	
AM	rTMS前評価 (60分)	rTMS (20分)	理学療法 (40分*1)	rTMS (20分)		
		理学療法 (40分)		理学療法 (40分)		
PM	rTMS (20分)			rTMS (20分)		rTMS後評価 (60分)
	理学療法 (40分)			理学療法 (40分)		

*1 土日はTMS (磁気刺激) はなく、個別での理学療法訓練のみになります。